

JCHO 埼玉メディカルセンターを受診された患者さまへ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にご連絡ください。

研究課題名	体腔液細胞診における脂肪染色法ならびに評価法の検討
研究代表者 (他施設共同研究全体の責任者)	JCHO 埼玉メディカルセンター病理診断科 鶴岡 慎悟
他の研究機関及び各施設の研究責任者 (各研究機関)	JCHO 埼玉メディカルセンター病理診断科 鶴岡 慎悟 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 大西 雅子 公立学校共済組合中国中央病院 山田 貴之
本研究の目的	体腔液細胞診（胸水、腹水、心嚢液）において、細胞質内に認められる空胞状構造は、脂肪滴、粘液、変性変化など多様な要因によって生じ、通常の染色標本のみではその本態の判別が困難な場合があります。 本研究では、体腔液細胞診検体を対象として脂肪染色（Oil Red O染色）を行い、その前処理条件および評価方法を整理・検討することを目的としています。また、Giemsa染色標本における打ち抜き空胞所見と脂肪染色所見との対応関係を検討することにより、良性病変と悪性病変における形態学的特徴の理解を深め、今後の診断精度向上に資する知見を得ることを目指しています。 本研究により、研究対象者の方に直接の利益が生じるものではありませんが、将来の体腔液細胞診断の質の向上に貢献できる可能性があります。
調査対象となる検体・診療情報 該当期間	倫理委員会承認後から 2028 年 3 月 31 日までの間に、体腔液細胞診が実施された症例のうち、診療のために採取された検体の残余検体を用います。 標本採取時点の年齢が 20 歳以上の患者さまを対象とします。
研究の方法（使用する資料等）	診療目的で採取された体腔液検体（胸水、腹水、心嚢液）のうち、細胞診断終了後に残存した検体および作製済みの細胞診標本（Pap染色標本、Giemsa染色標本）を使用します。 本研究のために新たな検体採取や診療内容の変更は行いません。 残余検体を用いて脂肪染色（Oil Red O染色）を行い、形態学的評価を実施します。また、利用可能な症例については、セルブロック標本を用いた免疫染色所見との関連についても検討します。
試料・情報の他の医療機関への提	本研究は多施設共同研究として実施されます。

供	研究に用いる情報は、個人が特定できないよう匿名化したうえで、研究代表者（鶴岡慎悟）に電子情報として提供されます。 本研究において、脂肪染色標本等の試料そのものを他施設へ提供・移送することはありません。症例の識別は、本研究用に付与した識別番号によって行い、対応表は研究責任者が厳重に管理します。
個人情報の取り扱い	本研究で使用される情報には、患者氏名、生年月日、患者IDなど、個人を直接特定できる情報は含まれません。 取得したデータは、パスワード管理された電子媒体および施錠管理された保管場所にて、研究責任者の管理のもとで適切に取り扱われます。
本研究に係る資金 (利益相反)	本研究は、特定の研究費や企業等からの資金提供を受けて実施するものではありません。研究の実施にあたり、開示すべき利益相反関係はありません。
お問い合わせ先	電話：048-832-4951（JCHO 埼玉メディカルセンター代表） 担当者：鶴岡 慎悟（病理診断科・研究代表者）